

# 今年度のGIGAスクールの取組状況と今後について

令和 6 年 1 月 2 9 日

学校指導課 GIGAスクール推進室

# 1 岐阜市のGIGAスクール推進方針

## 2 取組状況

## 3 今後の展望

# 1 岐阜市のGIGAスクール推進方針

# 岐阜市のGIGAスクール推進方針

## 岐阜市GIGAスクール推進計画

「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX」の概念に基づき

### 5つの基本方針

誰一人取り残さない  
個別最適・協働的な  
**学びの充実**

全ての子どもたちにとって  
**安心できる居場所づくり**

教職員の  
働き方改革

デジタル環境の  
最適化

デジタル人材の  
育成

**オール岐阜市学校体制で計画的に推進**

### 目指す姿

子どもたちが  
予測不可能な未来社会を自立的に生きていくための  
**資質・能力の一層確実な育成**

## 2 取組状況

- 【1】 誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実
- 【2】 全ての子どもたちにとって安心できる居場所づくり
- 【3】 教職員の働き方改革
- 【4】 デジタル環境の最適化
- 【5】 デジタル人材の育成

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 子どもが「学ぶ」ということ

子どもが自ら求める  
探究的な学び



みつける  
どうして？  
これって？

なっとく  
する  
そうか  
なるほどな  
でもな

もとめる  
きっと…  
つまり…  
さらに…

### 真の学びとは

- ・ 子ども一人一人に「知りたい」と願う課題があり、
- ・ その解決に向けて自ら求めて学び、
- ・ 自分なりの納得解が見いだされ、
- ・ 次の「知りたい」につながるもの。

これまでの学びは

「一斉に学ぶ」に最適化

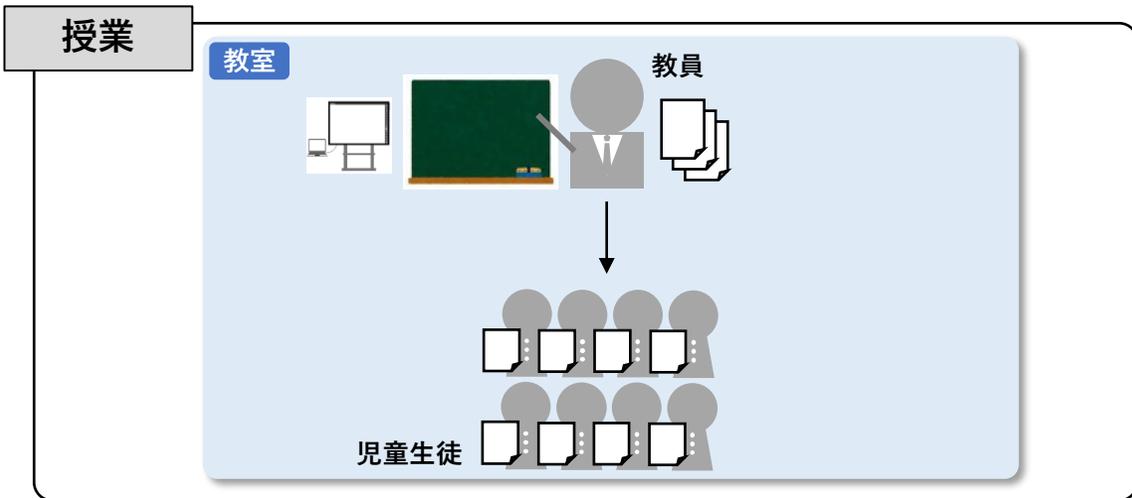
与えられた課題について、  
決められた枠組みの中で学ぶため、  
「子どもの主体性」が生み出され難い。

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

岐阜市が目指す姿

## 《これまで》

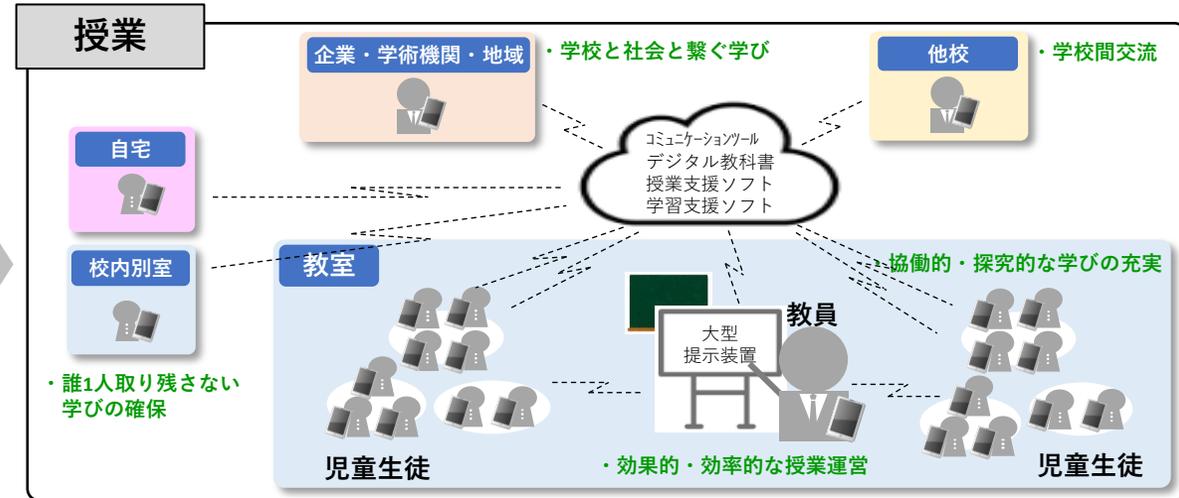
### 教員主導の一斉の学び



授業のOS転換

## 《これから》

### 子どもたち主体の個別最適な学び



# デジタルで実現可能に

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

岐阜市が目指す姿

《これまで》

《これから》

子どもたちが主体となる学び

子どもの  
学び方

一斉教授型

インプット重視

個による探究型

アウトプット重視

教員の位置付け

Teaching

Coaching

デジタル

学びを効率化

学びの成果を最大化

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 昨年度までの取組みと課題

《市教委⇒学校へのアプローチ》

学校現場における  
授業のOS転換

子ども自ら求める  
探究的な学び

【全校】

- ・各ソフトの活用研修
- ・活用事例の共有

全校での底上げ

《課題》

従来の  
一斉授業の慣習

多忙感

授業のOS転換

全教員への浸透

情報活用スキル

学校間／教員間  
依然として格差

## 今年度の取組方策

《市教委⇒学校へのアプローチ》

【重点校（4校）】

授業の研究・実践・全校展開

NEW

重点校から広げる

【校外研修】

市内の全小・中学校、  
特別支援学校の  
全教員が参加する  
授業参観 及び 研究会

学校現場における  
授業のOS転換

子ども自ら求める  
探究的な学び

教科で広げる

NEW

充実

全校での底上げ

【全校】多様な研修の機会

デジタルツール活用研修  
研修希望校への訪問支援  
認定ティーチャー取得研修 等

変更

授業支援ソフト

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 今年度の目標設定

NEW

重点校

モデルとなる授業の研究・実践・全校展開

NEW

校外研修

研究授業者（各ブロック・各教科）による実践と全教員による討議

充実

全校支援

デジタルツール活用研修、訪問支援によるデジタル利活用促進

《週3日以上の場合》

・授業における活用

ロイロ等  
ICT活用

60% → 90%  
(R4年度) (R5年度)

・意見交流、  
考えをまとめ発表する場  
での活用

授業の  
OS転換

16% → 45%  
(R4年度) (R5年度)

教員間の勉強会・研修等による組織的なデジタル人材育成

・認定ティーチャー 50人以上  
・デザイントレーナー 3人以上

ロイロ認定自治体取得

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

実践事例

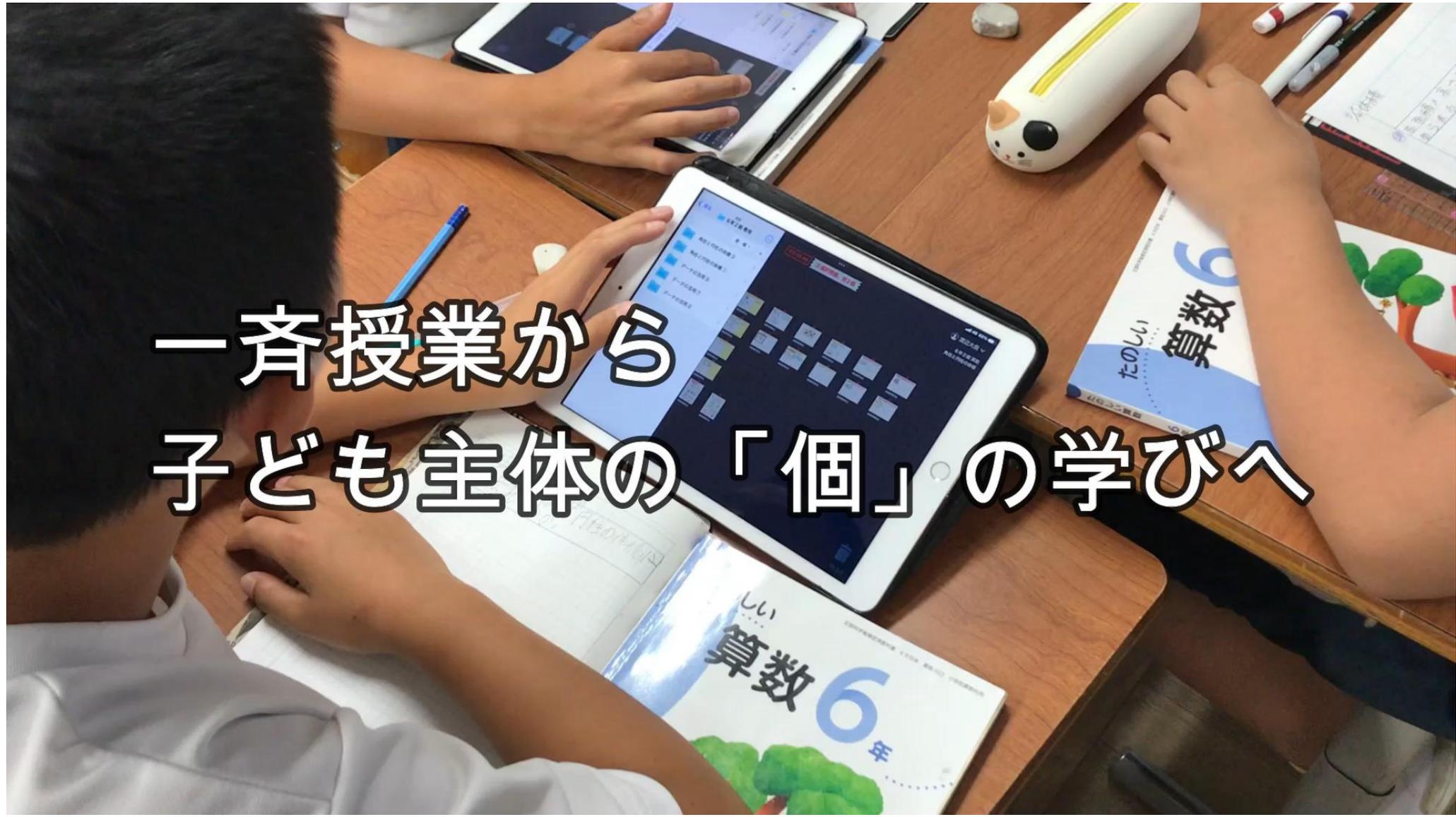
一斉授業から子ども主体の「個」の学びへ



# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

実践事例

一斉授業から子ども主体の「個」の学びへ



一斉授業から  
子ども主体の「個」の学びへ

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 実践事例 単元（9時間）を通じた自分の学びの足跡を俯瞰する学びへ

**単元9時間分の  
学びの足跡**

**②表の葉脈 葉研彫り**  
振り返り↓  
今日は、初めて掘ってみて彫刻刀とかも小学校の頃も全然使ってなくて久しぶりで少し緊張したけどしっかりと先生に話や説明を聞いて使い方を正しく、より本物、自然に近づくように葉っぱを掘ることができたのでよかったです。

**②表の葉脈 葉研彫り**  
振り返り↓  
今日は、切断することができなかったで、前回と同じく、彫刻刀で掘って行って、前は浅くていいのかと思ってたけど、改めて先生の説明を受けて、小丸刀などの使い方を見直すことができてよかったです。

**①表の葉脈 葉研彫り**  
振り返り↓  
今日は、やっと周りの部分を削ることができて、葉脈を全て掘ることができたけど、削るつもりがないところが取れてしまったので時間がある時に先生とかに手伝ってもらいながら修正していきたいし、次回は周りの部分を削れたので、薄く掘って、より自然な葉に近づけるようにしていきたいです。

振り返り↓  
今日は、前回の続きで裏の部分を掘って行って、前回の反省を活かして、しっかりと欠けないように丁寧に丁寧に行くことを意識して行ってきたので良かったです。

振り返り↓  
今日は、前回の続きで葉脈の周りの部分をもっと自然な感じに、もっと本物の葉に近づくような感じで掘って行って、平刀でやったけど丸刀で掘ってしまったので次回は全体的に綺麗に見えるように平刀で掘っていききたいです。

**振り返り↓**  
今日は、初めの方にかけてしまった部分と全体的に同じ高さになるように周りの部分を掘って行って、あまり上手に修正することができなかったで、次回はそこを頑張りたいです。

**振り返り↓**  
今日は、一番初めの方にかけてしまった部分を修正するために同じ高さになるように周りの部分を掘って行って、元々歯の葉脈の部分掘りすぎてしまった部分があるのでその修正にもなって、意外と上手にできたと思うのでよかったです。

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 実践事例 自分だけのノートから仲間と共有する多様なノートへ

自分だけのノートから  
仲間と共有する多様なノートへ

学習項目	取り分けられたこと	その学習の理由	仲間と共有すること
第1時	① B・C	ドイツの行動に驚かして、第二次世界大戦が始まった理由が分かった。	なぜドイツはそんなに強くなったのかを知りたい。
第2時	② B・C	ABC包囲論で日本が追い込まれるかを考えながら、太平洋戦争が起きた理由を考えた。	日本が他人に追いつけなかった理由を知りたい。
第3時	③ B・C	戦中の人々の生活や戦況、戦後、戦後から現在までの生活や戦況について学んだ。	戦中について、戦時中について学んだ。
第4時	④ B・C	ポツダム宣言に署名して、日本が降参するまでの経緯を知った。	なぜ日本が戦争を止めたのかを知りたい。
第5時	⑤ B・C	日本が戦争を止めた理由やポツダム宣言の内容を知った。	なぜ日本が戦争を止めたのかを知りたい。

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 新しい学びのモデル

学校の垣根を越え「1つの教室」で学ぶ  
小規模校つながる教室



### 児童生徒が

- ・ 多様な意見や考えに触れる
- ・ 協働して学習に取り組む機会の充実を図る

⇒ 児童生徒の学習活動の質を高める

自分の生き方をつくり出す  
ぎふMIRAI's事業

<p>中学生向け① R5.05.25</p> <p>岐阜市長 柴橋 正直 氏 ○柴橋正直市長が語る岐阜市の未来と自身の生き方について ・中学生がインタビュー</p>	<p>小学校高学年向け① R5.06.09</p> <p>輪匠 杉山 雅彦 氏 ○長良川鶴岡について ライブ配信 ・小学生が進行</p>	<p>中学生向け2、小学校高学年向け2 R5.07.07</p> <p>「枝兵衛禁止条約第1回締約国会議」で日本代表としてスピーチ 木戸 季市 氏 ○被爆体験、被爆者への差別、被爆者運動、核廃絶に向けて ・ライブ配信（児童生徒だけの限定公開）</p>	<p>小学低学年向け① R5.07.14</p> <p>川漁師 平工 颯太郎 氏 ○長良川の生き物 ①第1部 14:00～14:15 録画番組 ②第2部 14:20～14:40 ライブ配信</p>
<p>全小学生、全中学生向け R5.07</p> <p>岐阜市消防本部 ○水難事故防止教室 ①この動画 8分 ②NHK「水難事故を防ぐ ～どうして川で溺れるの?～」6分 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=As5Ht1eI">https://www.youtube.com/watch?v=As5Ht1eI</a> ③NHK「水難事故を防ぐ ～川や海で溺れた時はういてまで～」6分 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=MZxP110Qxt">https://www.youtube.com/watch?v=MZxP110Qxt</a></p>	<p>小学低学年向け② R5.09.21</p> <p>金華山研究者 宮部 賢二 氏 ○金華山博士になろう ①第1部 14:00～14:20 録画番組 ②第2部 14:25～14:40 ライブ配信</p>	<p>中学生向け③ R5.11.09</p> <p>起業家 長曾我部 敏也 氏 (岐阜大学大学院、FiberCraze 代表) ○大学生の時に起業したわけ ①第1部 14:00～14:20 録画番組 ②第2部 14:25～14:40 ライブ配信 ③第3部 14:40～15:15 録画</p>	<p>小学校高学年向け③ R5.12.07</p> <p>岐阜和傘職人 田中 美紀 氏 (高橋和傘店) ○私が和傘職人になったわけ ①第1部 14:00～14:22 録画番組 ②第2部 14:30～14:45 ライブ配信</p>

### 児童生徒が

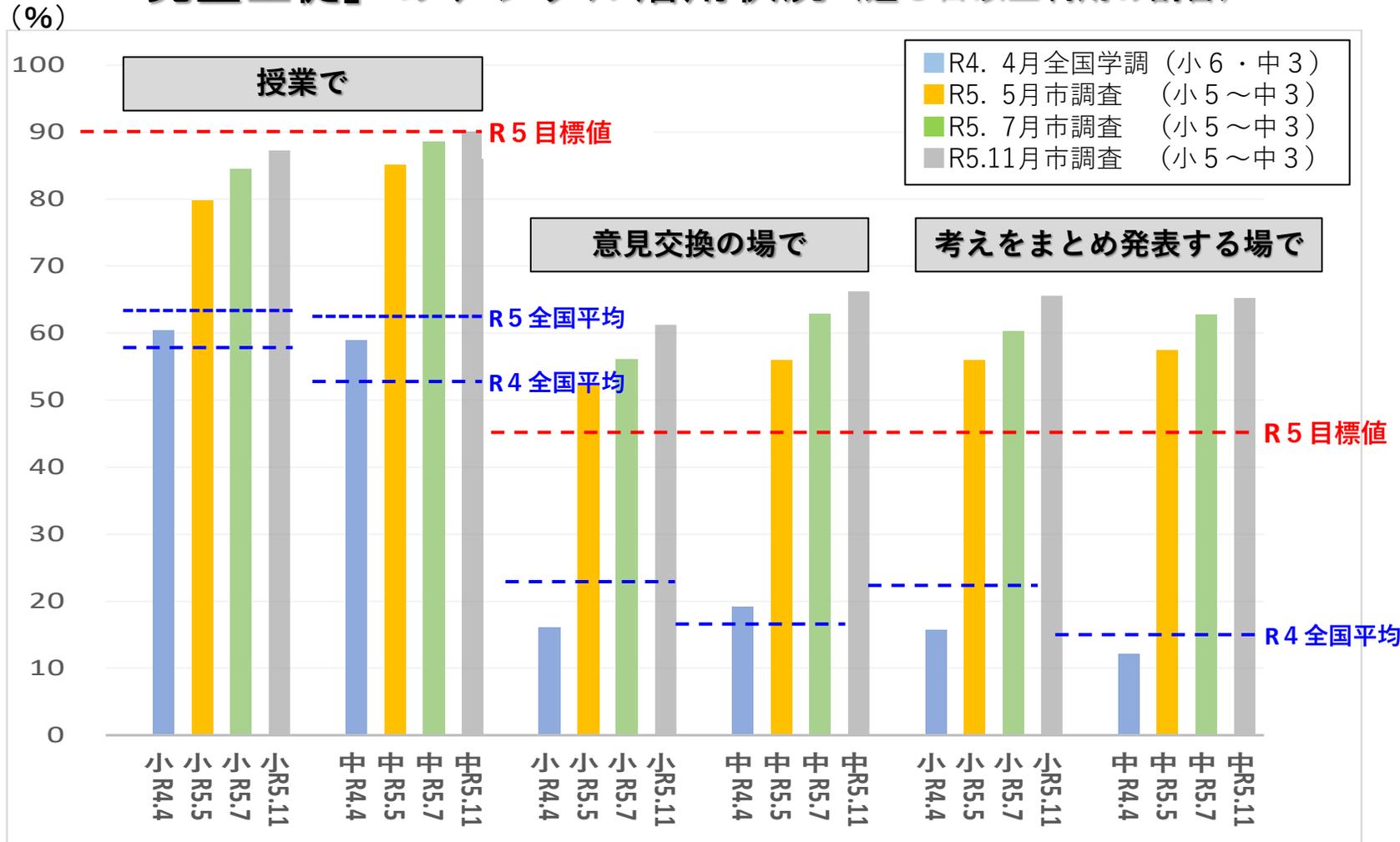
- ・ 岐阜市を学びのフィールドとして本物に触れる
- ・ 探究的な学びの充実を図る

⇒ 自分の生き方やよりよい社会の在り方を主体的に考える

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 実績・評価

「児童生徒」のデジタル活用状況（週3日以上利用の割合）



ロイロ認定自治体取得  
(全国2番目)



- ・認定ティーチャラー : 57人
  - ・デザイントレーナー : 6人
- (R5.12.末時点)

# 【1】誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実

## 今後の展開

継続

重点校

モデルとなる授業の研究・実践・全校展開

継続

校外研修

研究授業者（各ブロック・各教科）による実践と全教員による討議

強化

全校支援

重点校での授業実践事例の各校展開

デジタルツール活用研修、訪問支援によるデジタル利活用促進

《週3日以上割合》

・授業における活用

ロイロ等  
ICT活用

93% → 95%

(R6年度)

(R7年度)

・意見交流、  
考えをまとめ発表する場での活用

授業の  
OS転換

70% → 80%

教員間の勉強会・研修等による組織的なデジタル人材育成

- ・学校支援の強化
- ・認定ティーチャー拡大（各校1人～）

## 2 取組状況

- 【1】 誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実
- 【2】 全ての子どもたちにとって安心できる居場所づくり
- 【3】 教職員の働き方改革
- 【4】 デジタル環境の最適化
- 【5】 デジタル人材の育成

## 【2】全ての子どもたちにとって安心できる居場所づくり

第3回  
総合教育会議

ICTを活用した子どもの健康サポート 「ここタン」

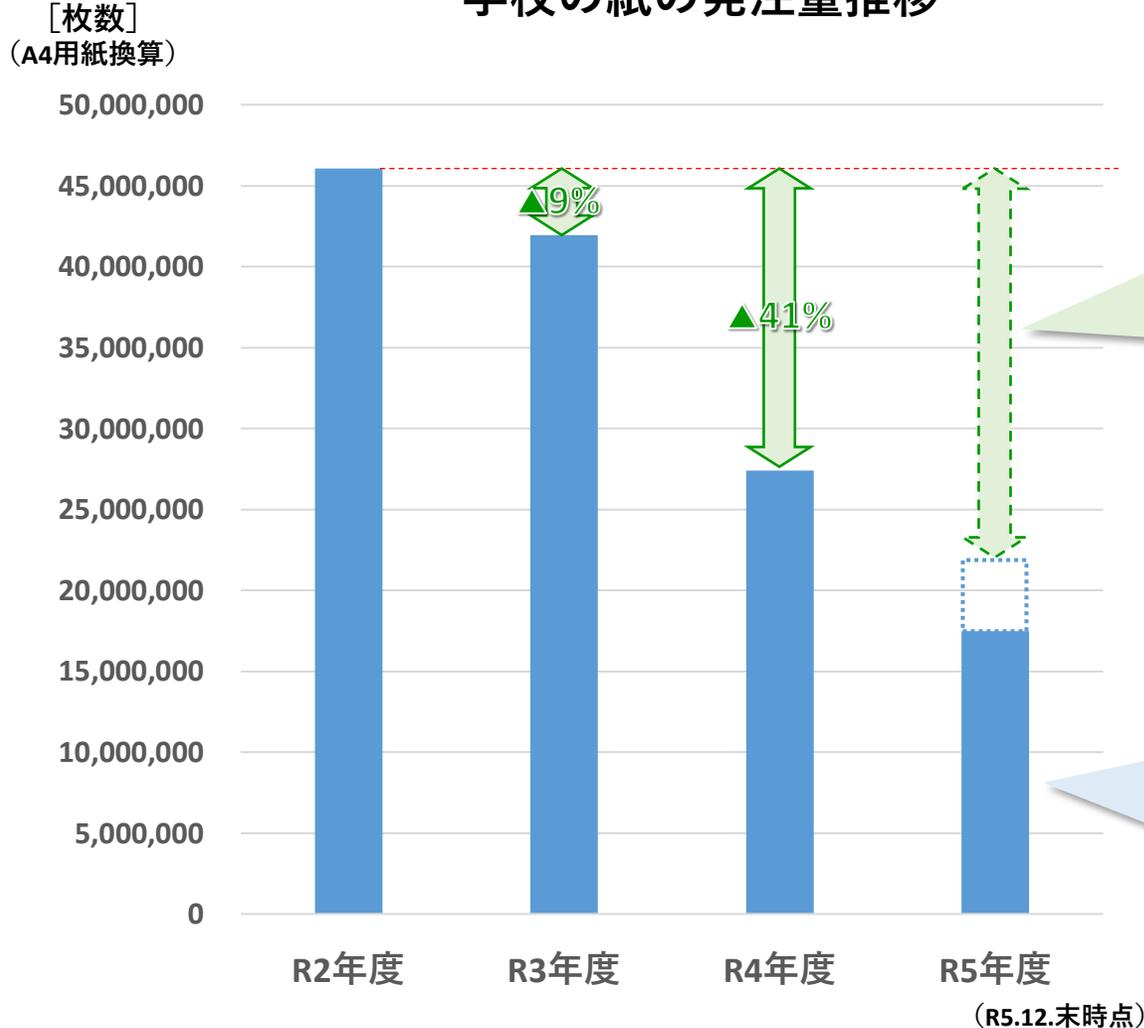
第3回  
総合教育会議

不登校対策  
メタバースを活用した 「オンラインフリースペース」 実証

# 【3】教職員の働き方改革

## ペーパーレス化

### 学校の紙の発注量推移



各種デジタル活用により  
ペーパーレス化が進み  
事務の効率化が  
図られている

- |             |             |                |
|-------------|-------------|----------------|
| 会議・研修       | 教材等の共有      | アンケート          |
| 保護者からの欠席等連絡 | 保護者へのお便り等配布 | 地域の方々へのお知らせ等配布 |
| 授業運営        | 宿題配信・添削     | テスト採点          |
| 文書作成        | 文書の回覧・決裁    | 出退勤管理          |

### 引続きの課題

文書回覧・決裁

地域の方へのお知らせ等

### 解決の方向性

統合型校務支援システム  
新機能活用 (R6年度~)

理解醸成

# 【4】 デジタル環境の最適化

## 取組みの全体像

### 《背景》

#### 課題

- 【働き方】  
教員の多忙／ワークライフバランス充実
- 【ICT環境】  
利便性／情報セキュリティ

#### デジタル技術の進展

- ・クラウドサービスの充実
- ・新たなセキュリティ対策技術

#### 文科省指針

- ・「情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」改訂
- ・「GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」
- ・「学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議」  
(2022.12設置⇒2025年新指針策定)

### 《取組対象》

環境整備時期（計画含む）

#### 校務系環境

- ・ **ロケーションフリー環境整備** R6～7年度  
⇒教職員のワークライフバランスの充実
- ・ **教育ダッシュボード整備** R5～6年度  
⇒エビデンスに基づく指導の充実

#### 教室環境

- ・ **全教室大型提示装置更新** R4～6年度
- ・ **小規模校つながる教室環境整備** R5年度

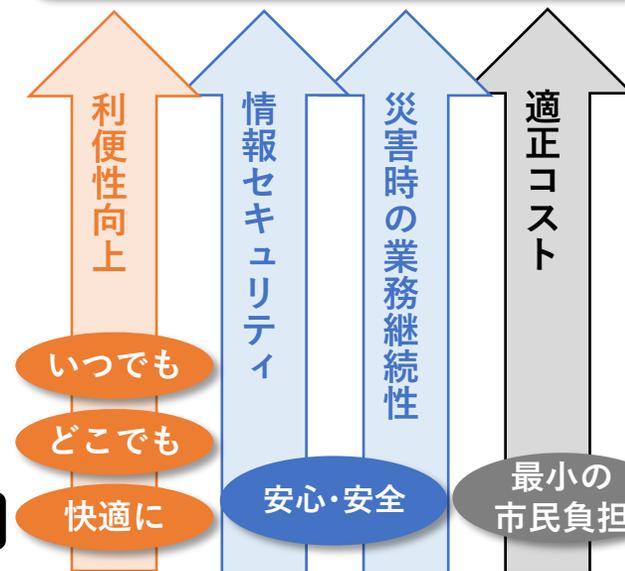
#### 端末・ソフト

- ・ **次期校務パソコン更新** R6～7年度
- ・ **次期タブレット端末更新** R7～8年度
- ・ **学習系・校務系各種ソフトの評価・見直し** 適宜

### 《目指す姿》

- ・ 学びの充実
- ・ 安心できる居場所
- ・ 働き方改革

の成果を最大化する環境整備



# 【5】 デジタル人材の育成

## デジタル・シティズンシップ教育

### ① 活用ガイド（DC版）による啓蒙



・より良く使う意識  
・保護者の理解  
醸成

### 《令和5年度の主な対応》

- 【NEW】 「DC教育」を理解する指導案整備 ⇒ 小学校で実証授業  
参考授業ビデオ作成 ⇒ 全校展開
- 【NEW】 「生成AI」に関する文科省ガイドラインに基づき
  - ・児童生徒向け：活用ガイドに追加・周知 ⇒ 中学校で実証授業
  - ・教員向け：ガイドライン整備 ⇒ 周知

### 《令和6年度》

より充実

### ② 新小1生「GIGAびらき」

小学校

・より良く使う意識  
・保護者の理解  
醸成

岐阜市教委

各大学

- 【NEW】 協力大学を追加 3大学（R5年度） ⇒ 5大学（R6年度）  
R6年度協力予定大学  
岐阜聖徳学園大学、岐阜大学、岐阜女子大学、東海学院大学、中部学院大学

実施校  
順次拡大

### ③ 過度な通信利用者への対応

通信使用状況  
毎月点検

技術的対策

人的対策  
(保護者の理解醸成)

- ・フィルタリングソフトの脆弱性対策強化
- ・深夜帯の通信遮断
- ・(必要に応じ) 保護者によるタブレット端末利用時間帯制限

- ・全タブレット端末にDC教育に基づく注意喚起の壁紙設定
- ・過度な通信利用者への聴き取り・必要に応じ指導（保護者とも情報共有）

【NEW】 毎月中旬時点で一定の通信量を超えた利用者に注意喚起の壁紙配信

継続実施

### 3 今後の展望

# 3 今後の展望

《本市の現状》

教育DX  
実現ステップ

第3段階

新しい学校モデルの創出

学びの  
OS転換

小規模校  
つながる教室

ぎふMIRAI's

メタバース  
不登校支援

第2段階

組織や構造のプロセスをデジタル化

オンライン  
授業配信

スタディ  
サプリ

オンライン  
会議・研修

スマート  
連絡帳

採点支援

第1段階

アナログ情報をデジタル化

デジタル  
教科書

大型  
提示装置

《今後》

児童生徒が  
デジタルを自律的に、より効果的に  
全ての学びの場面で活用

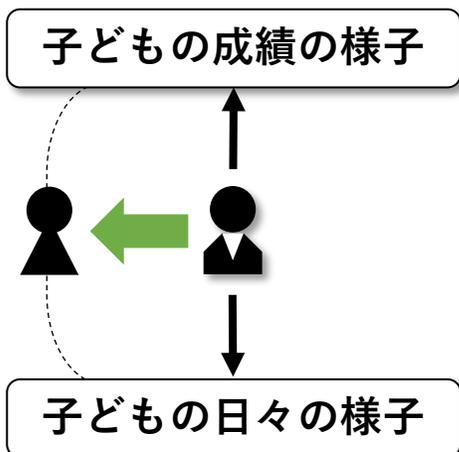
日常化

# 3 今後の展望

## 教育データ利活用の展望

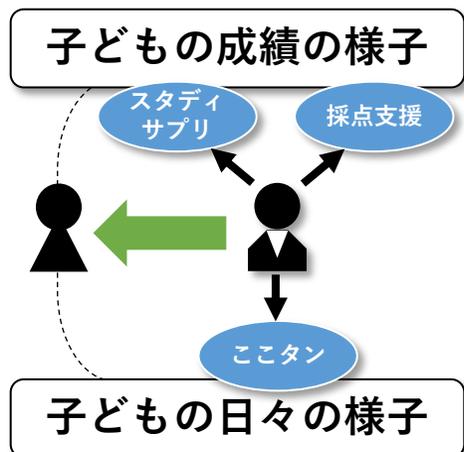
《これまで》

教員の目で把握



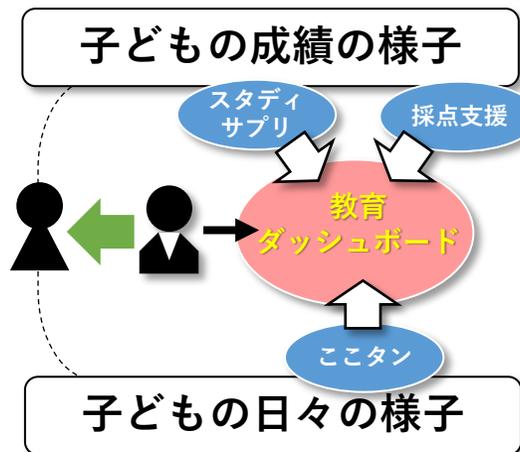
《現状》

各ソフトのエビデンスで把握



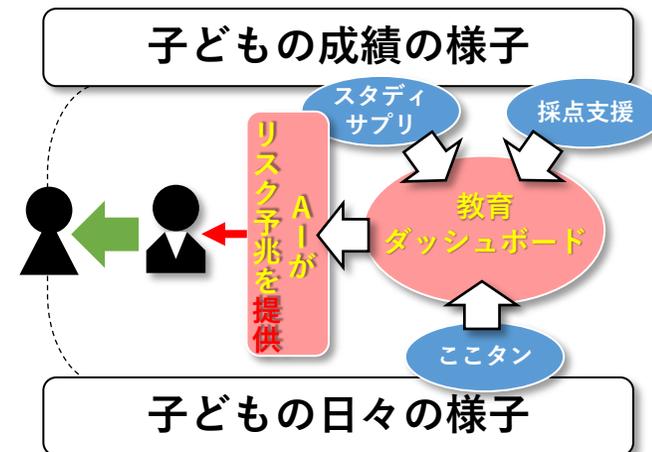
《短期》

総合的なエビデンスで把握



《中期》

予知して事前に把握



誰一人取り残さない個別最適・協働的な  
**学びの充実**

全ての子どもたちにとって  
**安心できる居場所づくり**

本日は、主に**以下の事項**について、**ご協議**いただきたい

## ● デジタルツールを駆使した多様な学びの姿

に関するご意見・ご提案

# 資料

# 【3】教職員の働き方改革

《成果》 スマート連絡帳

R4.6(導入) ~ R5.12.末(1年7か月間)

◆朝の欠席等の連絡

55万6千件

※1日平均25件/校(園)

電話連絡がアプリ連絡に

◆朝の削減時間

△15分/担任

- ・子どもたちに向き合う時間確保
- ・授業準備時間確保

◆お便り等の配信

740万枚

ペーパーレス化

# 【3】教職員の働き方改革

《成果》採点支援システム

実績（6月～12月）

採点作業

- 選択問題 ▶ 自動採点
- 記述問題 ▶ 一覧化して一括採点

自動集計

- 合計点や観点別得点
- 生徒一人ひとりの成績

分析

- 生徒一人ひとりの分析票
- 学年、クラス全体の得点状況

▶ 採点処理枚数

延べ 116,497枚

▶ 削減時間

▲ 4,854時間

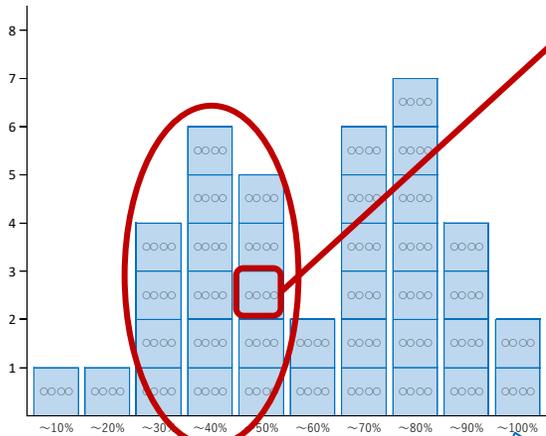
(学校平均▲ 220時間)

# 【3】教職員の働き方改革

## 《成果》採点支援システム

実績（6月～12月）

クラスの得点率度数分布から  
ケアしたいグループの個々を観察



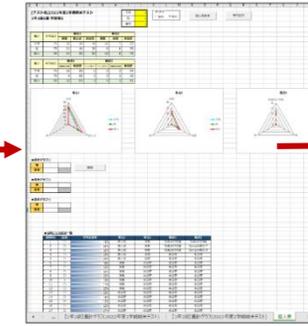
クラスの得点率度数分布から  
クラス全体の傾向把握



個々の得点推移から  
ケアが必要な子どもを把握



該当生徒の得点率から  
指導ポイントを把握



該当生徒の分析票から  
個別指導

個に応じた  
指導



クラス全体の設問別得点率から  
観点毎の理解状況を把握

授業改善

テスト採点データが可視化され、指導すべき学習課題や指導すべき生徒・指導ポイントを把握

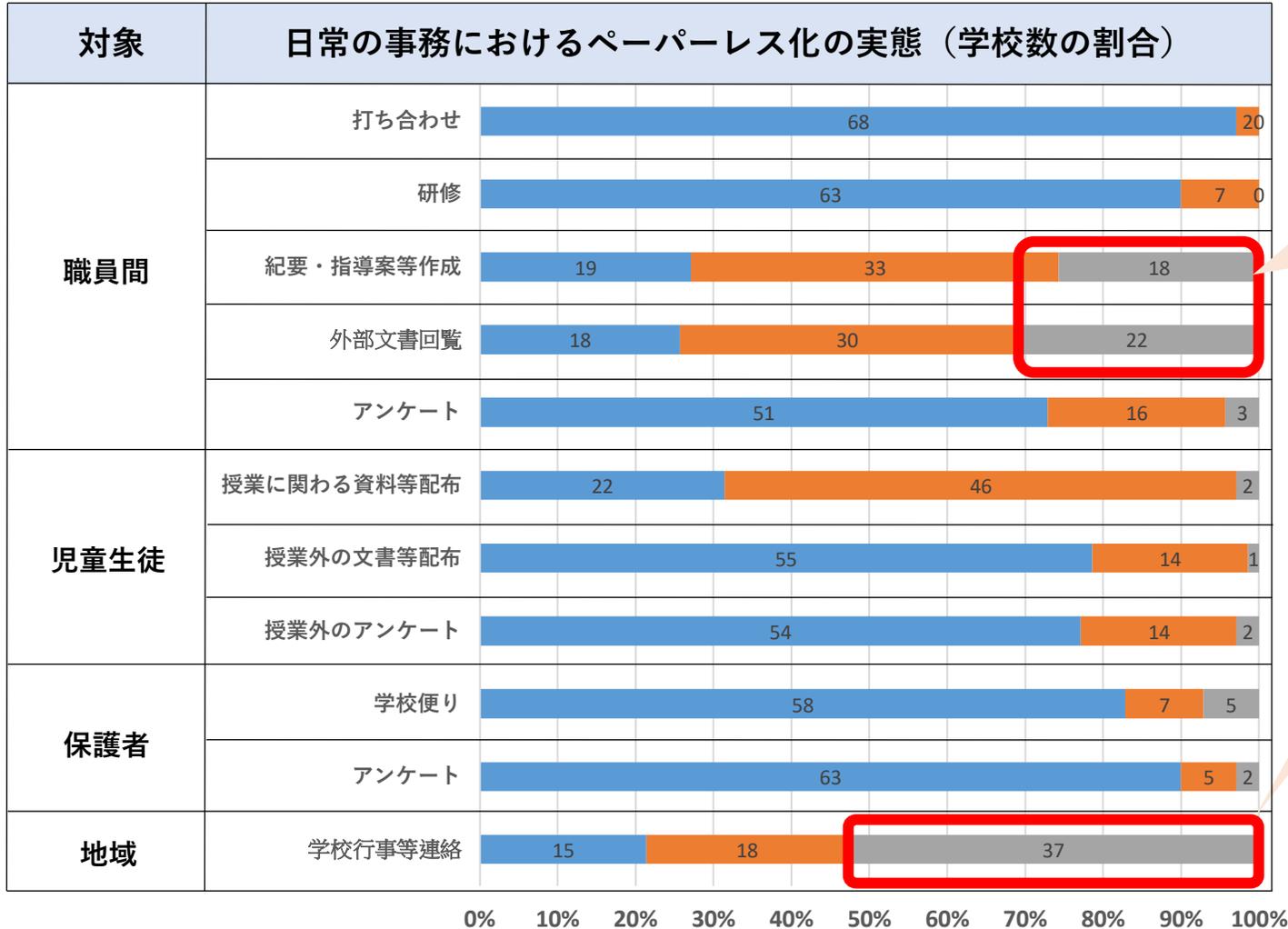
⇒ エビデンスに基づくより効果的な指導の実現

# 【3】教職員の働き方改革

## 学校のペーパーレス化の実態

(2023.12時点)

■ 概ねしている (80%~) ■ 一部している (50%~) ■ 十分でない (50%未満)



### 【運用面】

一部で紙運用が継続している

- ①紙保存の規定
- ②有効なデジタルツールがない
- ③相手先の理解が得られない

### 【環境面】

- ①校務パソコンのレスポンス
- ②時間と場所に制約のある環境